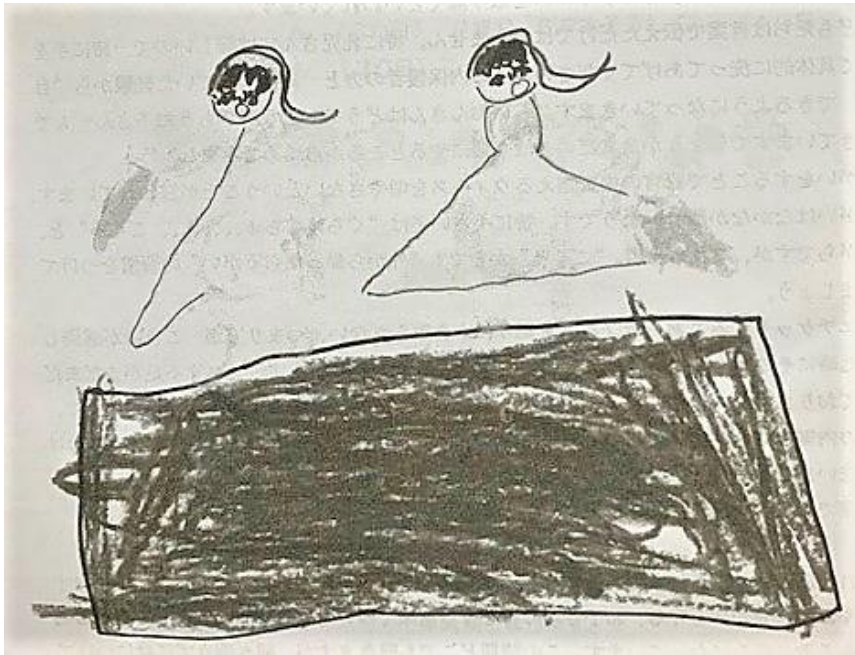


なえば

園だより 5月号



2020年度

苗場保育園

“新年度からいよいよ職場復帰”の保護者の皆さんのお子さんとの葛藤の姿や、進級して自分たちの成長を喜ぶ子どもたちの笑顔を見る機会が半減しとても残念な、異例の新年度のスタートとなりました。

再三にわたり「自粛」のお手紙が皆さんのところに届く事態になりましたが、これも子どもたち、保護者の皆さんや職員、他地域の方々やその周りにいらっしゃる全ての命を守る手立てとしてのお願いとしてご理解をいただければと思います。

『手洗い、うがい、咳エチケット』励行しましょう！！

どうでしょうか？そろそろできていますでしょうか？

手洗いをすることで多くのウィルスを取り除くといわれています。

子どもたちは言葉で伝えただけではできません。特に乳児さんには難しいので一緒に手を取って具体的に洗ってあげてください。その内保護者の方と一緒にやっていた経験から“自分で”できるようになっていきます。らいおんさんはどうでしょうか？もうお子さん一人でもできていますでしょうか？まだの方は一緒にやるところから始めてみましょう。

うがいをすることで器官の中で増えるウィルスを増やさないということが言われています。

うがいはなかなか難しいようです。特に小さい子は“ぐちゅぐちゅ、、、、、、ごくっ”と、なりがちですが、これも習慣。“ごくっ”からでも“外から帰ったらうがい”の習慣をつけていきましょう。

咳エチケットすることでウィルスを周りにまき散らさない、つまり万が一ご自身が感染していた時にそのウィルスを他の人に伝染させないといわれています。マスク不足がまだまだ続いておりますが、手作りマスクでも構いませんし万が一無い場合には手のひらではなく、ひじの内側で咳を受け止めるなどして、手のひらにつけないような工夫をしましょう。つけたら洗いましょう。特に食事中的子どもたちの咳は、直接周りの子に影響をもたらします。ご家庭での取り組みをお願いします。

これらについてはこれまでも感染症が流行る時期の前から毎年のようにお伝えしていますが、やはり自分の身を守る、お子さんの身を守る意味ではいちばん原始的のようで今一番効果のある取り組みになっています。この時期どこでも聞きますが、聞き飽きずに身につけていきましょう。

自粛でご家庭でお過ごしの皆様、もう間もなく解除が言われることになるのではと思っておりますが、その時に皆さんと笑顔で会えるように、それからその後コロナの再拡大をさせて再び宣言が出ることをないようにするために、ご家庭での取り組みにご協力をお願いします。

園長 藤田 淳志

苗場あれこれ

苗場で行われていること、考えていること、これまでの経緯など改めての説明になるかもしれませんが、お伝えするページを作りました。連絡ノートなどでも「苗場あれこれ」と、記入でご質問などお受けして皆さんで共有していきたいと思います。第一回目は・・・

◎連絡ノート◎

生活リズムの確立とお子さんとのコミュニケーションのためのツール

小さければ小さいほど子どもたちは生活リズムに影響されます。夜更かしすると次の朝起きれなくてぐずぐずしたり、朝ごはんが早いと園での生活の途中で早々にお腹がすいて泣き出して遊べずに過ごしていることもあります。そういう時には少し早めの給食にしたり、睡眠不足の場合は午前睡をとったり、ご家庭での状況を知ってできる限りの対応をして、できるだけ元気に一日を過ごさせてあげたいと思います。2歳以降のお子さんについてはそういった大人同士のやり取りの延長でご家庭での様子が分かってきますので、少し記入の量や項目が減ります。4歳ころには現実に起きたことと、子どもたちが伝えてくれることとの誤差がなくなってきます。親子の会話が言葉でやり取りができるようになってきますし、今後の成長の過程でお子さんとのコミュニケーションは大事になってきますので、きっかけのためのクラスノート等で対応させていただいたりすることもありますし、サインだけで済ませていることもあります。ご了承ください。ただし、ご不明な点やお子さんのことで気になることにつきましては、ご記入いただいたり、面談等の機会も設けたいと思いますので、お申しつけください。

◎個人の持ち物への記名◎

個人の持ち物が紛失することがあります。特に最近靴下などが落ちていて、登園ボードの近くに張り出してしばらくそのままのことが見受けられます。(靴下については園としてはケガの防止のためにもお勧めしておりません。)名前が書いてあると落ちていた時に戻ってくることもあります。名前がないとなくなることもあります。それ以外の乳児の子達の口拭きタオルなども職員も極力間違わないようにしておりますが、万が一で入れ間違ってしまうこともあります。その時に誰が見ても分かるように名前が書かれていると戻りも早いと思います。また服などはドロドロ遊びになっていることもあり、その都度丁寧に洗濯していただくと一緒に名前も落ちてしまいます。また友達と一緒にの者を購入されることもあり、入れ替わったりもします。

以上、色々なことで名前がないことでお互いに嫌な思いをしなくて良いように、持ち物を定期的に点検していただき、記名をお願いします。

☆5月の予定☆

				1	2	3
4	5	6	7	8 お弁当の日	9	10
11	12 ・身体測定 ・造形(でか)	13 避難訓練	14	15	16	17
18	19 造形(ちゅう)	20	21	22	23	24
25	26 造形(ちび)	27	28	29	30	31

☆6月の予定☆

1	2	3	4 リズム	5 サロン	6	7
8	9 造形(でか)	10	11 リズム	12 お弁当の日	13 フレイパーク	14
15	16 ・身体測定 ・造形(ちゅう)	17 避難訓練	18 リズム	19 サロン	20	21
22	23 造形(ちび)	24	25 リズム	26	27	28
29	30					



5月生まれのお友達

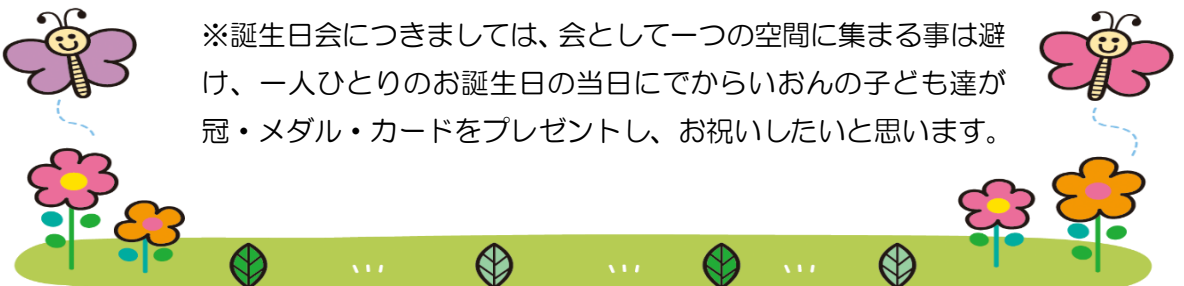
紙面をご確認ください。



コロナウィルスによる緊急事態宣言の延長に伴い、5月中の以下の活動・行事が中止となりました。

- 子育てサロン
 - リズム
 - 誕生日会
 - 山形田植え旅行（でか）
- 乳児個人面談につきましては延期となります。

※誕生日会につきましては、会として一つの空間に集まる事は避け、一人ひとりのお誕生日の当日にでからいおんの子ども達が冠・メダル・カードをプレゼントし、お祝いしたいと思います。





入園・進級をして約1ヶ月が経ちました。緊張していた表情や、朝の別れに涙していた顔も少しずつ変わってきたのではないのでしょうか？新しく始まった生活に子どもも、保護者の方もゆっくり慣れていってほしいと思います。

特集 『これでいいの？離乳食』



P・20～保護者・保育者 私の離乳食体験記

今月の特集では、“離乳食”について書かれています。家庭での困った事や、園として行っている工夫など。様々な立場から見た離乳食についての話が書かれています。

苗場保育園・えんがわでもやっています！！

食を大事にしている苗場では、初めて離乳食や給食を食べる際は保護者の方にも試食をしてもらっています。特に離乳食を進める上では、家庭での様子を聞きながら同じように始められるように、食材や味、形状など細かい部分まで確認しながら始めます。又、栄養士・調理士・保育者が様子を伝え合う事を含め、週1回翌週の進め方を考える話し合いも行っています。

保護者の方も疑問や質問ありましたら是非声を掛けてくださいね！！

又、P・24～食育懇談会を通して一保護者から学びいっしょに考えあって一が、掲載されています。昨年度苗場保育園でも行いました、懇談会に+して苗場の給食を知ってもらおうと試食会を行いました。同じように他の保育園でも実践していて、様々な様子が見えてきた事や、続ける事の大切さが書かれています。



P.84～もう5歳なのに…〇〇なのに…を考える



「もう〇〇なのに。」目の前にいる子どもを見て思ってしまう事があるのではないのでしょうか？私も小学生2人を育てる母ですが、よく思ってしまう事があります。掲載されているのは、保育園・保育者からの目線で書かれています。私たち大人の社会が目の前にいる子ども達が素直に見せている姿や、思いに気づいてあげられない状況になっているのではないのでしょうか？